

令諸眾生，受於快樂 無量眾生，發菩提心

佛須是在眾生中成就，菩薩是在苦難中成就，所以菩薩以感恩心走入人群，不斷啓發自己的慈悲心念，不離棄苦惱的芸芸眾生，從無私付出中，體證菩提道果。

菩薩談空說有，開啓種種法門，使眾生滅除無名煩惱，回歸於無恐懼、無得失的法喜境界；菩薩更以智慧施教，度化眾生萌發道心，透徹虛幻假相，踏實地行在菩薩道上，以清淨大愛利益人間。

點滴行善，功德綿延

問：「要如何行善？何等善行才有功德？」

答：「很簡單——看到有人受寒凍，以悲憫心爲他披上一件暖和的衣裳禦寒；看到有人飢餓，以悲憫心給予糧食；；在別人最需要時伸出援手、給予所需，及時解困脫苦，這就是行善，如此就有功德。這一念心點點滴滴、連連接接，時時刻刻都在行善、累積功德。」

選自證嚴法師《說法無量義無量》

諸眾生に喜びを与え 無量の衆生が菩提心を発す

佛は衆生の中に在つてこそ成就され、菩薩は苦難の中で成就されます。そのため、菩薩は感謝の心をもって人々の間に分け入り、絶えず慈悲の心を啓発し、苦悩がある衆生を見離さず、無私な行いの中で、身を以つて菩提（悟り）の道を得ることが出来ます。菩薩は「空」から「有」を説き、数々の法門を示し、衆生の無明煩惱を取り除き、恐懼のない心へ回帰させ、得ることや失うことがない「法喜」の境地へ至らせます；菩薩は智慧を以つて教えを施し、衆生を救済し修行する心を起こさせ、偽りや眞実ではないことを見透かし、着実に菩薩道を行い、清浄な大愛を以つて人々に利益を与えます。

小さな善行の積み重ね、 功德が延々と続く

問：「どのように善を行えばよいでしょうか？功德があるのはどのような善行でしょうか？」

答：「とても簡単です——寒さに凍えている人を見たとき、慈しみの心を以つて暖かい衣服を一着被せて寒さを和らげてあげたり、飢えている人を見たとき、慈しみの心を以つて食べ物を与えることです；他の人が助けを必要としている時に手を差し伸べ、必要なものを与え、困難や苦しみから助ける、これが善を行うということで、このようなものであれば功德があります。この一念が一つ一つを積み重ね、絶え間なく常に善を行うことで、功德を積んでいます。」

選自證嚴法師《說法無量義無量》